



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社東葛ホールディングス

コード番号 2754 URL http://www.tkhd.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石塚 俊之

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 高橋 輝 TEL 047-346-1190

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	1,727	3.3	95	9.7	98	9.0	61	7.5
29年3月期第1四半期	1,671	6.7	87	0.8	90	4.1	56	4.0

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 61百万円 (7.5%) 29年3月期第1四半期 56百万円 (4.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	12.62	12.29
29年3月期第1四半期	11.75	11.48

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	6,188	3,759	60.4
29年3月期	6,315	3,746	59.0

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 3,736百万円 29年3月期 3,724百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,323	△1.9	207	13.2	209	10.4	135	13.0	27.94
通期	7,746	7.3	471	14.4	474	12.7	302	9.2	62.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は添付資料P. 8 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	4,840,000株	29年3月期	4,840,000株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	1,701株	29年3月期	1,701株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	4,838,299株	29年3月期1Q	4,838,299株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成29年4月1日～平成29年6月30日）におけるわが国の経済環境は、個人消費の改善の動きは依然として緩やかであるものの、企業収益は回復基調にあり、雇用環境等も引き続き改善の動きをみせている等、全体では緩やかに回復しつつある状況で推移しました。

このような環境のなか、当社グループにおいて中核事業である自動車販売関連事業が属する自動車販売業界では、前期に発生した燃費不正の問題の影響を受けた届出車（軽自動車）の販売が回復したこと、登録車（普通自動車）の販売も好調に推移したこと等により当第1四半期連結累計期間の国内新車販売台数は1,204,792台（登録車（普通自動車）・届出車（軽自動車）の合計。前年同四半期比11.8%増）となりました。

当社グループにおけるセグメント毎の状況につきましては以下のとおりであります。

新車販売につきましては、前期以降にモデルチェンジ等を受けた車種は販売を伸ばした反面、モデル末期の車種においては販売が落ち込んだこと等から販売台数は491台（前年同四半期比1.0%減）となりました。また、登録受取手数料等の手数料収入は前年同四半期に比べて減少したものの、整備業務を行うサービス売上は前年同四半期に比べて増加したこと等から売上高は14億2百万円（前年同四半期比3.1%増）となりました。

中古車販売につきましては、新車販売からの下取車、オークション等からの外部仕入により販売車両の確保に努めました。販売台数は453台（前年同四半期比7.6%減。内訳：小売台数182台（前年同四半期比8.5%減）、卸売台数271台（前年同四半期比6.9%減））となりましたが、1台当たりの販売価格は前年同四半期を上回りました。また、登録受取手数料等の手数料収入は減少しましたが、サービス売上が増加したこと等から売上高は3億円（前年同四半期比5.6%増）となりました。

その他につきましては、生命保険・損害保険代理店業関連事業において、前期中途に開設した新店舗が今期の売上に寄与しましたが、4月からの標準利率大幅引き下げの影響による有力商品の売り止めや手数料率の引き下げ等により保険契約件数及び保険取扱手数料が前年同四半期に比べて減少したことから売上高は23百万円（前年同四半期比7.6%減）となりました。

以上の結果、当社グループの売上高は17億27百万円（前年同四半期比3.3%増）となりました。

また、損益につきましては、営業利益は95百万円（前年同四半期比9.7%増）、経常利益は98百万円（前年同四半期比9.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は61百万円（前年同四半期比7.5%増）となりました。これは、当社グループ全体の売上高に占める割合が大きい新車販売の売上高が前年同四半期に比べて増加したこと、販売費及び一般管理費が前年同四半期に比べて減少したことによるものです。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は32億27百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億57百万円減少いたしました。これは商品及び製品が16百万円、その他の資産が43百万円それぞれ増加、現金及び預金が1億70百万円、受取手形及び売掛金が46百万円それぞれ減少したことによるものです。固定資産は29億61百万円となり、前連結会計年度末に比べて30百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が32百万円増加したことによるものです。

この結果、総資産は61億88百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億27百万円減少いたしました。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は21億67百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億29百万円減少いたしました。これは賞与引当金が23百万円増加、買掛金が49百万円、短期借入金が36百万円、未払法人税等が37百万円、その他の負債が28百万円それぞれ減少したことによるものです。固定負債は2億61百万円となり、前連結会計年度末に比べて11百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が12百万円減少したことによるものです。

この結果、負債合計は24億29百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億40百万円減少いたしました。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は37億59百万円となり、前連結会計年度末に比べて12百万円増加いたしました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益61百万円及び剰余金の配当48百万円によるものです。また、自己資本比率は60.4%（前連結会計年度末は59.0%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1億70百万円減少し、当四半期連結会計期間末には14億69百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において営業活動の結果使用した資金は39百万円（前年同四半期は1億84百万円の獲得）となりました。これは税金等調整前四半期純利益97百万円から主に減価償却費24百万円、賞与引当金の増加額23百万円、売上債権の減少額22百万円、たな卸資産の増加額39百万円、仕入債務の減少額49百万円、その他の資産の増加額42百万円及び法人税等の支払額73百万円等を調整したものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は33百万円（前年同四半期は0百万円の獲得）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出35百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は97百万円（前年同四半期は1億63百万円の使用）となりました。これは借入金の返済による支出49百万円、配当金の支払額48百万円によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、概ね計画通りに推移していることから、平成29年5月11日の「平成29年3月期決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,640,144	1,469,486
受取手形及び売掛金	1,334,286	1,287,564
商品及び製品	281,215	297,910
その他	128,884	172,152
流動資産合計	3,384,531	3,227,114
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	410,990	406,016
機械装置及び運搬具(純額)	181,982	187,185
土地	2,109,461	2,109,461
建設仮勘定	3,077	35,477
その他(純額)	6,953	6,370
有形固定資産合計	2,712,465	2,744,511
無形固定資産	1,432	1,271
投資その他の資産	217,338	215,527
固定資産合計	2,931,235	2,961,310
資産合計	6,315,767	6,188,425
負債の部		
流動負債		
買掛金	460,710	411,361
短期借入金	1,291,751	1,254,988
1年内返済予定の長期借入金	50,004	50,004
未払法人税等	74,637	36,959
賞与引当金	48,651	72,334
その他	370,918	342,016
流動負債合計	2,296,672	2,167,664
固定負債		
長期借入金	79,149	66,648
その他	193,314	194,758
固定負債合計	272,463	261,406
負債合計	2,569,135	2,429,070
純資産の部		
株主資本		
資本金	211,085	211,085
資本剰余金	200,496	200,496
利益剰余金	3,313,193	3,325,917
自己株式	△673	△673
株主資本合計	3,724,102	3,736,825
新株予約権	22,529	22,529
純資産合計	3,746,631	3,759,354
負債純資産合計	6,315,767	6,188,425

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
売上高	1,671,426	1,727,371
売上原価	1,282,407	1,335,644
売上総利益	389,019	391,727
販売費及び一般管理費	301,736	295,985
営業利益	87,282	95,741
営業外収益		
受取利息	364	322
受取手数料	3,762	3,434
その他	1,390	643
営業外収益合計	5,517	4,401
営業外費用		
支払利息	2,748	1,949
その他	9	72
営業外費用合計	2,757	2,022
経常利益	90,042	98,120
特別損失		
固定資産処分損	78	584
特別損失合計	78	584
税金等調整前四半期純利益	89,963	97,535
法人税等	33,097	36,429
四半期純利益	56,865	61,106
親会社株主に帰属する四半期純利益	56,865	61,106

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	56,865	61,106
四半期包括利益	56,865	61,106
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	56,865	61,106
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	89,963	97,535
減価償却費	26,952	24,558
賞与引当金の増減額 (△は減少)	24,175	23,682
受取利息及び受取配当金	△364	△322
支払利息	2,748	1,949
固定資産処分損益 (△は益)	78	584
売上債権の増減額 (△は増加)	166,572	22,512
たな卸資産の増減額 (△は増加)	18,843	△39,393
仕入債務の増減額 (△は減少)	△85,801	△49,348
その他の資産の増減額 (△は増加)	△13,988	△42,513
その他の負債の増減額 (△は減少)	1,987	△2,877
小計	231,169	36,368
利息及び配当金の受取額	11	11
利息の支払額	△3,101	△1,949
法人税等の支払額	△43,943	△73,773
営業活動によるキャッシュ・フロー	184,135	△39,343
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,549	△35,237
貸付金の回収による収入	2,682	2,682
差入保証金の差入による支出	—	△1,112
差入保証金の回収による収入	74	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	206	△33,667
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△102,487	△36,762
長期借入金の返済による支出	△12,501	△12,501
配当金の支払額	△48,382	△48,382
財務活動によるキャッシュ・フロー	△163,371	△97,646
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	20,970	△170,657
現金及び現金同等物の期首残高	1,428,951	1,640,144
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,449,922	1,469,486

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報）

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成28年4月1日至平成28年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	新車販売	中古車販売	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,360,347	285,102	1,645,449	25,977	1,671,426
セグメント間の内部売上高又は振替高	63,690	—	63,690	43,288	106,979
計	1,424,037	285,102	1,709,140	69,265	1,778,406
セグメント利益	86,938	33,761	120,700	8,555	129,256

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、生命保険・損害保険代理店業関連事業及び钣金塗装事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	120,700
「その他」の区分の利益	8,555
セグメント間取引消去	△338
全社費用（注）	△41,634
四半期連結損益計算書の営業利益	87,282

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	新車販売	中古車販売	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,402,410	300,962	1,703,372	23,998	1,727,371
セグメント間の内部売上高又は振替高	76,156	—	76,156	45,360	121,516
計	1,478,566	300,962	1,779,529	69,358	1,848,887
セグメント利益	103,517	32,346	135,864	2,291	138,155

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、生命保険・損害保険代理店業関連事業及び钣金塗装事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	135,864
「その他」の区分の利益	2,291
全社費用（注）	△42,413
四半期連結損益計算書の営業利益	95,741

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。